



9月30日(水) A会場

8:30~10:30 **委員会シンポジウム 22 (性同一性障害に関する委員会)**
トランスジェンダー、性別不合 gender incongruence/性別違和の就労問題

司会：太田 順一郎 岡山市こころの健康センター
康 純 大阪医科大学附属病院

CS22-1 **精神科外来で見聞するトランスジェンダーと職場の問題**

○松本 洋輔
岡山大学病院ジェンダーセンター

CS22-2 **トランスジェンダーの就労の法的問題 (経済産業省事件)**

○山下 敏雅
永野・山下法律事務所

CS22-3 **野村ホールディングスのLGBTに対する取り組みについて**

○北村 裕介
野村ホールディングス株式会社

CS22-4 **トランスジェンダーの就職活動における課題**

○薬師 実芳
認定特定非営利活動法人ReBit

CS22-5 **【指定発言】**

○及川 卓
及川心理臨床研究所

〈コーディネーター〉 松本 洋輔 岡山大学病院ジェンダーセンター
康 純 大阪医科大学附属病院

10:40~12:40 **シンポジウム 79**
精神科産業医養成プログラムの必須アイテムをめぐって

司会：工藤 喬 大阪大学キャンパスライフ健康支援センター精神科
黒木 宣夫 勝田台メディカルクリニック

S79-1 **精神科産業医に必要な労働関係法制度**

○田中 克俊
北里大学大学院医療系研究科医学専攻産業精神保健学

S79-2 **メンタルヘルス不調者の治療就労両立支援に必要な連携情報は何か？**

○小山 文彦
東邦大学医療センター佐倉病院産業精神保健・職場復帰支援センター

S79-3 **精神科産業医の業務遂行能力、関係構築能力に関して**

○渡辺 洋一郎
医療法人メディカルメンタルケア横山・渡辺クリニック

S79-4 **職場内・職場外との連携力をめぐって**

○神山 昭男
医療法人社団桜メデイスン有楽町桜クリニック

S79-5 【指定発言】

○井上 幸紀
大阪市立大学医学部附属病院

S79-6 【指定発言】

○大野 裕
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〈コーディネーター〉 工藤 喬 大阪大学キャンパスライフ健康支援センター精神科
神山 昭男 桜メデイスン産業保健サポートセンター

13:10~15:10 シンポジウム 89
双極症（双極性障害）の薬物療法を安全に行うために

司会：鈴木 映二 東北医科薬科大学病院
渡邊 衡一郎 杏林大学医学部付属病院

S89-1 双極症（双極性障害）治療薬の相互作用

○鈴木 映二
東北医科薬科大学医学部精神科学教室

S89-2 双極症治療薬の不適正使用と重篤な副作用

○山田 和男
東北医科薬科大学病院精神科

S89-3 救急医療施設に搬送される慢性リチウム中毒およびリチウム誘発性腎性尿崩症

○上條 吉人
埼玉医科大学病院救急科

S89-4 双極症治療薬の危険性を含めた情報を当事者とシェアするためには

○渡邊 衡一郎
杏林大学医学部精神神経科学教室

〈コーディネーター〉 鈴木 映二 東北医科薬科大学病院
山田 和男 東北医科薬科大学病院



9月30日(水) B会場

8:30~9:30

特別講演 5

同時通訳(E↔J)

司会：前田 正治 福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座

SL5

The Rewards and Risks of Disaster Psychiatry

○Craig L. Katz

Clinical Professor, Psychiatry, Medical Education, and System Design and Global Health, Icahn School of Medicine at Mount Sinai



11:50~12:50

教育講演 13

司会：内山 真 日本大学医学部精神医学

EL13

精神医学に睡眠学はいかに貢献するか

○三島 和夫^{1,2}

¹秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座、²WPI-IIS筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構



13:10~15:10

シンポジウム 90

光トポグラフィー (NIRS) 検査の有用性と問題点

司会：野田 隆政 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
宮内 哲 国立研究開発法人情報通信研究機構

S90-1

NIRS の臨床応用の実際

○河野 創一^{1,2}、菅野 和子²、青木 俊太郎³、藤原 達雄⁴、阿部 和道⁴、高橋 敦史⁴、一條 靖洋⁵、
義久 精臣⁵、三浦 至²、矢部 博興²

¹一般財団法人竹田健康財団竹田総合病院精神科、²福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、

³福島県立医科大学医療人育成・支援センター、⁴福島県立医科大学医学部消化器内科学講座、

⁵福島県立医科大学医学部循環器内科学講座

S90-2

日常臨床における NIRS の活用

○野田 隆政^{1,2}

¹国立精神・神経医療研究センター病院精神科、

²国立精神・神経医療研究センター脳病態統合イメージングセンター臨床脳画像研究部臨床光画像研究室

S90-3

光トポグラフィー検査による精神疾患診断(補助)の問題点

○宮内 哲

国立研究開発法人情報通信研究機構

〈コーディネーター〉 矢部 博興 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

9月30日(水) C会場

8:30~10:30

シンポジウム 69

精神科医からみた口腔領域の身体症状 -難しく避けられがちな病態に立ち向かう-

司会：宮岡 等

北里大学医学部精神科学

S69-1

精神科医が口腔症状を診療する課題

○富永 敏行

京都府立医科大学大学院医学系研究科精神機能病態学

S69-2

歯科医師との連携

○宮地 英雄

北里大学健康管理センター

S69-3

口腔領域の慢性疼痛に対する精神科リエゾン

○木村 宏之

名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

S69-4

口腔内の身体症状の病態および治療戦略を考える -精神科外来における身体症状症への薬物療法の立場から-

○名越 泰秀

京都第一赤十字病院精神科(心療内科)

〈コーディネーター〉

名越 泰秀

京都第一赤十字病院精神科(心療内科)

富永 敏行

京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学

10:40~12:40

委員会シンポジウム 26 (ガイドライン検討委員会)

統合失調症に合併する肥満・糖尿病ガイドをどのように臨床に応用するのか

司会：久住 一郎

北海道大学病院精神科神経科

古郡 規雄

獨協医科大学精神神経医学講座

CS26-1

多職種連携による統合失調症患者の肥満・メタボリックシンドロームへの対応

○鈴木 雄太郎^{1,2}¹新潟大学医歯学総合病院、²医療法人敬愛会末広橋病院

CS26-2

統合失調症に合併する肥満について、どのように対処するのか？

○菅原 典夫

獨協医科大学精神神経医学講座

CS26-3

統合失調症に合併する肥満・糖尿病ガイドをどのように臨床に応用するのか -内科の立場から-

○佐倉 宏

東京女子医科大学東医療センター

CS26-4

統合失調症に合併する肥満・糖尿病：実臨床での課題

○村井 俊哉

京都大学大学院医学研究科精神医学教室

CS26-5

【指定発言】

○佐久間 啓

社会医療法人あさかホスピタル

〈コーディネーター〉

古郡 規雄

獨協医科大学精神神経医学講座

久住 一郎

北海道大学病院精神科神経科



13:10~15:10

シンポジウム 91

明日から出来る摂食障害の外来治療～中堅医師からコツを伝授します～

司会：田村 奈穂 国立国際医療研究センター国府台病院
竹林 淳和 浜松医科大学医学部附属病院精神神経科

S91-1 摂食障害外来患者の身体管理について

○田村 奈穂
国立国際医療研究センター国府台病院心療内科

S91-2 摂食障害の外来診療ガイド

○竹林 淳和
浜松医科大学医学部附属病院精神神経科

S91-3 摂食障害外来診療に応用可能な CBT-E の技法の大切な要素

○高倉 修
九州大学病院心療内科

S91-4 摂食障害治療における医療機関連携の現状について 精神科医の立場から

○山内 常生
大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

〈コーディネーター〉 井上 幸紀 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学
田村 奈穂 国立国際医療研究センター国府台病院

9月30日(水) D会場

8:30~10:30 **委員会シンポジウム 23** (男女共同参画推進委員会)
 とともに働きやすい社会へ -女性精神科医のさらなる活躍をめざす

司会：加茂 登志子 若松町こころとひふのクリニック
 榎戸 美佐子 谷野呉山病院

CS23-1 **学術分野における女性の活躍および男女共同参画推進：2017年および2019年調査の比較から**
 ○安藤 久美子
 聖マリアンナ医科大学病院神経精神科学教室

CS23-2 <演題取り下げ>

CS23-3 <演題取り下げ>

CS23-4 <演題取り下げ>

CS23-5 **【指定発言】**
 ○穴水 幸子
 慶応義塾大学医学部精神神経科学教室

CS23-6 **【指定発言】**
 ○早苗 麻子
 医療法人社団萌クリニック

CS23-7 **【指定発言】**
 ○安川 節子
 熊本ファミリーメンタルクリニック

CS23-8 **【指定発言】**
 ○布施 泰子
 茨城大学保健管理センター

CS23-9 **【指定発言】**
 ○三原 伊保子
 三原デイケア+クリニックりぼん・りぼん

<コーディネーター> 安藤 久美子 聖マリアンナ医科大学病院神経精神科学教室
 加茂 登志子 若松町こころとひふのクリニック



10:40~12:40

シンポジウム 80

患者の自動車運転に関するガイドライン再考 -患者にとって良いアドバイスとは-

司会：松尾 幸治 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科
中林 哲夫 独立行政法人医薬品医療機器総合機構

S80-1 患者の自動車運転に関する精神科医のためのガイドラインのポイント

○松尾 幸治
埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

S80-2 向精神薬を服薬する精神疾患患者の自動車運転 -証左に基づいて処方医が注意すべきこと

○岩本 邦弘
名古屋大学医学部附属病院精神科

S80-3 産業現場からみた精神疾患患者における自動車運転可否の判断の難しさ

○小西 勇輝
産業医科大学精神医学教室

S80-4 高齢ドライバの人間・運転特性データベース「DAHLIA」から考える運転支援のありかた

○青木 宏文
名古屋大学

〈コーディネーター〉 松尾 幸治 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

13:10~15:10

シンポジウム 92

ベンゾジアゼピン系睡眠薬代替療法の可能性

司会：栗山 健一 国立研究開発法人国立精神神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部
高江洲 義和 杏林大学医学部精神神経科学教室

S92-1 ベンゾジアゼピン系睡眠薬を取り巻く国際状況と代替療法の必要性

○栗山 健一、吉池 卓也
国立研究開発法人国立精神神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部

S92-2 ベンゾジアゼピン系睡眠薬の有用性と有害性の科学的評価

○吉池 卓也、栗山 健一
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S92-3 メラトニン受容体作動薬およびオレキシン受容体拮抗薬の有用性と対象病態

○鈴木 正泰
日本大学医学部精神医学系

S92-4 鎮静系抗うつ薬・抗精神病薬の有用性と対象病態

○小曾根 基裕
久留米大学神経精神医学講座

S92-5 認知行動療法とその他の非薬物療法の有用性と対象病態

○高江洲 義和
杏林大学精神神経科学教室

〈コーディネーター〉 栗山 健一 国立研究開発法人国立精神神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部
高江洲 義和 杏林大学医学部精神神経科学教室
内山 真 日本大学医学部精神医学系精神医学分野

9月30日(水) E会場

シンポジウム 70
取り下げ10:40~12:40 シンポジウム 81
精神医学における精神療法の専門性(サブスペシャリティ)司会：木村 宏之 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野
岡田 暁宜 名古屋工業大学保健センター

- S81-1 精神医療における精神療法の一般性と専門性について -精神科医と精神療法家-
○岡田 暁宜
名古屋工業大学保健センター
- S81-2 精神科専門医にとっての精神療法とは -サブスペシャリティ以前の精神療法-
○池田 暁史
文教大学人間科学部臨床心理学科
- S81-3 日本精神分析的な精神医学会の認定制度について
○皆川 英明¹、衣笠 隆幸²
¹広島市精神保健福祉センター、²広島精神分析医療クリニック
- S81-4 精神科医の基本的な技能から専門的スキル：認知行動療法の観点から
○中川 敦夫^{1,2}
¹慶應義塾大学病院臨床研究推進センター教育研修部門、²慶應義塾大学医学部精神神経科学教室
- S81-5 【指定発言】
○森 隆夫
あいせい紀年病院
- 〈コーディネーター〉 木村 宏之 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野
岡田 暁宜 名古屋工業大学保健センター

13:10~15:10 シンポジウム 93
多機能型精神科診療所における包括的地域ケアの実践司会：窪田 彰 医療法人社団草思会錦糸町クボタクリニック
原 敬造 原クリニック

- S93-1 多機能精神科診療所における地域包括ケア
○原 敬造
医療法人社団原クリニック
- S93-2 多機能型精神科診療所による就労支援(生活支援)
○大嶋 正浩
医療法人社団至空会メンタルクリニック・ダダ
- S93-3 多機能型精神科診療所における触法事例へのアプローチ
○長谷川 直実
医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック



S93-4 多機能型診療所における多職種アウトリーチの実践～ひきこもる人への支援を中心に～

○三家 英明
三家クリニック

S93-5 【指定発言】

○福田 祐典
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〈コーディネーター〉 窪田 彰 医療法人社団草思会錦糸町クボタクリニック
原 敬造 原クリニック

9月30日(水) F会場

8:30~10:30

シンポジウム 71

児童虐待を予防する -産婦人科医、小児科医、精神科医のコラボレーション-

司会：上野 千穂 京都市児童福祉センター診療科児童精神科
相原 加苗 東大阪市立障害児者支援センター

S71-1

虐待予防のために精神科医ができること～周産期メンタルケア外来の実践から～

○菊地 紗耶¹、小林 奈津子^{1,2}、本多 奈美³、富田 博秋³¹東北大学病院精神科、²東北大学大学院医学系研究科精神看護学分野、³東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

S71-2

産科における胎児・児童虐待予防に向けた両親の支援と引継ぎの重要性

○西郡 秀和

福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センター発達環境医学分野

S71-3

胎児・児童虐待対策・予防に向けた家族支援における小児科医の役割

○本村 知華子

国立病院機構福岡病院

S71-4

小児総合病院における複数診療科、多職種連携による虐待予防 -安定した精神状態での子育てを支援すること-

○三宅 和佳子

大阪母子医療センター子どものこころの診療科

〈コーディネーター〉 上野 千穂 京都市児童福祉センター診療科児童精神科
山下 浩 さいたま市子ども家庭総合センター

10:40~12:40

シンポジウム 82

被災地でのアウトリーチを中心とした精神保健活動の現状と課題 **ここ・から・なごみの活動から**

司会：原 敬造 原クリニック/震災こころのケア・ネットワークみやぎ
渡部 裕一 原クリニック/心の架け橋いわて

S82-1

被災地石巻圏での精神保健活動

○原 敬造

医療法人社団原クリニック

S82-2

岩手県大槌町におけるアウトリーチ型被災地支援～心の架け橋いわての活動から

○長谷川 朝穂^{1,2}、鈴木 満¹¹認定NPO法人心の架け橋いわて、²社会医療法人公徳会若宮病院

S82-3

福島県相双地区の震災後の孤立化しやすい住民への働きかけと課題

○米倉 一磨

NPO法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会相馬広域こころのケアセンターなごみ

〈コーディネーター〉 原 敬造 原クリニック



13:10~15:10

シンポジウム 94

仮想症例から学ぶアルコール依存症の新ガイドラインと治療ゴール -断酒と減酒の実践的治療を考える-

司会：宮田 久嗣 東京慈恵会医科大学精神医学講座
齋藤 利和 北仁会幹メンタルクリニック

S94-1 アルコール依存症の新ガイドラインと治療ゴール

○湯本 洋介
国立病院機構久里浜医療センター精神科

S94-2 症例 1：断酒が必要だが、動機づけが不十分なケース

○澤山 透
相模ヶ丘病院

S94-3 症例 2：減酒が第一選択となるケース：減酒治療の心理社会的治療とは

○宮田 久嗣
東京慈恵会医科大学精神医学講座

S94-4 症例 3：うつ病を合併するケース：精神科合併症がある場合、治療ゴールを修正するのか

○齋藤 利和
医療法人北仁会幹メンタルクリニック

S94-5 【指定発言】

○山下 悠毅
ライフサポートクリニック

〈コーディネーター〉 宮田 久嗣 東京慈恵会医科大学精神医学講座

9月30日(水) H会場

8:30~9:30 一般演題(口演) 29
統合失調症 5

司会: 小田 康彦 一般財団法人みやぎ静心会国見台病院

3-029-1 緊張病症状が10年以上持続した統合失調症に対し、修正型電気けいれん療法を施行した1例

○戸山 茜¹、甲斐 利弘¹、引地 克仁¹、岡本 洋昭¹、粥川 朋哉¹、春原 敦¹、矢野 雄大¹、
大川 雄太郎¹、宮本 沙緒里²、古塚 大介¹¹大阪市立総合医療センター精神神経科、²大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

3-029-2 治療設定を工夫した統合失調症の親子の症例

○板倉 征史、岩田 正明、兼子 幸一

鳥取大学医学部脳神経医学科学講座精神行動医学分野

3-029-3 当院の第二世代LAIの使用状況 -特にパリペリドンLAI自験症例について

○根本 豊實

磯ヶ谷病院精神科

3-029-4 統合失調症に伴う緊張病にメマンチンが有効であった1例

○福田 春樹、安藤 泰善、佐川 悠毅、加藤 嘉明、清水 優、高橋 宏彰、大西 征司、小倉 盛崇、
長谷川 聖、日比野 浩之、北川 年一、高屋 淳彦

福井記念病院診療部

9:40~10:40 一般演題(口演) 31
統合失調症 6

司会: 岸本 泰士郎 慶應義塾大学医学部精神・神経科学講座

3-031-1 統合失調症におけるGABAA受容体に対する自己抗体及び新規自己抗体の解析

○塩飽 裕紀¹、中野 悠里¹、竹林 裕直²、寺崎 太洋²、高橋 英彦¹¹東京医科歯科大学大学院精神行動医学科学分野、²医療法人社団正慶会栗田病院

3-031-2 統合失調症における顕著性ネットワークとドパミンD2受容体占有率の関係: rs-fMRIによる予備的研究

○小高 文聰¹、宮田 久嗣¹、松島 理士²、畠 正真³、野口 景司³、石井 洵平¹、繁田 雅弘¹¹東京慈恵会医科大学精神医学講座、²東京慈恵会医科大学放射線医学講座、³東京慈恵会医科大学附属病院放射線部

3-031-3 NDBオープンデータを活用した我が国における高齢者に対する抗精神病薬の使用実態

○菊地 信示郎、吉村 健佑、山岸 一貴

千葉大学医学部附属病院

3-031-4 統合失調症患者における麻痺性イレウスと向精神薬の関連

○稲熊 徳也¹、灘谷 聡昭²、池本 正平³、井藤 佳恵¹¹東京都立松沢病院精神科、²東京都立松沢病院薬剤科、³東京都立松沢病院内科

3-031-5 統合失調症急性期における持効性注射剤の使用状況

○平野 弘美¹、花岡 晋平²、阿部 貴之²、椎名 雄一¹¹千葉県精神科医療センター薬剤検査部、²千葉県精神科医療センター



10:50~11:50 一般演題 (口演) 33

地域精神医療・精神科救急 1

司会：大塚 耕太郎 岩手医科大学神経精神科学講座

3-033-1 地域関連機関と精神科医療の協働による中学校のメンタルヘルス対策事業

○河邊 憲太郎^{1,2}、堀内 史枝^{1,2}、仲地 究^{1,2}、細川 里瑛^{1,2}、芳野 歩美^{1,2}、上野 修一¹
¹愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学、²愛媛大学医学部附属病院子どものこころセンター

3-033-2 <演題取り下げ>

3-033-3 <演題取り下げ>

3-033-4 千葉市における外国人措置入院患者の実態

○中西 健太¹、花岡 晋平²、水野 和佳子³、阿部 貴之²、石川 敬子²、大塚 正毅⁴、佐藤 ひとみ⁵、
深見 悟郎²、林 偉明³
¹社会医療法人北斗会さわ病院、²千葉県精神科医療センター、³千葉県精神保健福祉センター、⁴千葉市保健所、
⁵千葉市保健福祉局

3-033-5 精神科救急における“MOBILE PCU”によるプレホスピタルケアの新たな取り組み 精神科ドクターカーの導入

○関口 秀文、三丸 剛人、原 秀之、中島 政美
医療法人高柳会赤城病院

12:00~13:00 一般演題 (口演) 35

地域精神医療・精神科救急 2・その他

司会：菅野 智行 一般財団法人新田目病院

3-035-1 単科精神科病院における身体疾患罹患による転院と院内死亡の実態 -栃木県内 19 病院の調査-

○安田 学、小林 聡幸、佐藤 謙伍、齋藤 暢是、須田 史朗
自治医科大学精神医学教室

3-035-2 大学病院精神科病棟における「身体拘束ゼロ」に向けた多職種協働の取り組み

○宮城 美奈子、中村 美和、松田 美智代、近藤 伸介、笠井 清登
東京大学医学部附属病院

3-035-3 妊婦のメンタルヘルスと出産を支援する携帯メール介入の効果の国際比較～日本とタイにおける効果の比較～

○児玉 豊彦¹、大林 陽子²、宮田 千春²、新小田 春美²、村端 真由美²、中谷 三佳³、谷村 晋²、
太田 義勝⁴、杉浦 徳宏⁵、畑下 博世⁶、西出 りつ子²、成田 有吾²、門脇 文子²、片岡 三佳²、
石本 恭子⁷、山田 奈央⁸、池田 智明⁹、ピアヌート ブート¹⁰
¹産業医科大学産業保健学部看護学科、²三重大学大学院医学系研究科看護学専攻、
³三重大学大学院医学系研究科看護学専攻研究生、⁴三重大学大学院工学研究科情報工学専攻、
⁵三重大学総合情報処理センター、⁶東京医療保健大学看護学部、⁷川崎医療福祉大学医療技術学部、
⁸岐阜大学医学部看護学科、⁹三重大学大学院医学系研究科医学専攻、¹⁰チェンマイ大学看護学部

3-035-4 重度のソルピデム使用障害に対し森田療法的アプローチを試みた一例

○逸見 竜次、江口 寛、佐藤 守、大島 勇人、小曾根 基裕、内村 直尚
久留米大学神経精神医学講座

13:10~14:10 **一般演題（口演）37**
ECT・ニューロモデレーション

司会：一瀬 邦弘 医療法人聖美会多摩中央病院

- 3-037-1 老年期に初発したうつ病に対する電気けいれん療法の安全性、有効性、長期予後および認知機能への影響の検討**
○森川 文淑、昔農 雄太、飯田 愛弓、田端 一基、猪俣 光孝、直江 寿一郎
医療法人社団旭川圭泉会病院精神科医局
- 3-037-2 ECT（電気痙攣療法）mirror image 調査（統合失調症）**
○田中 康平
地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立北病院診療部
- 3-037-3 ECT（電気痙攣療法）mirror image 調査（双極性障害・うつ病）**
○田中 康平
地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立北病院診療部
- 3-037-4 脳波リアルタイムモニタリングによる ECT の刺激タイミングの最適化の試み**
○栗本 直樹^{1,2}、尾池 祐輝¹、北野 雅史¹、山田 麻紀¹、栗本 藤基¹
¹医療法人藤樹会滋賀里病院精神科、²医療法人藤樹会滋賀里病院麻酔科
- 3-037-5 精神病症状およびうつ病を伴うパーキンソン病患者に対する ECT 治療について**
○宮軒 将、岡田 滋裕、杉田 大輔、石丸 綾子、荒賀 哲也、渡邊 史恵、森 美佳、元木 郁代
新生病院精神科



9月30日(水) | 会場

8:30~9:30 一般演題(口演) 30
精神保健福祉

司会: 上野 修一 愛媛大学大学院医学系研究科

3-030-1 携帯メールを利用した産後の母親の育児支援に向けた取り組み

○児玉 豊彦¹、大林 陽子²、宮田 千春²、新小田 春美²、村端 真由美²、中谷 三佳³、谷村 晋²、
太田 義勝⁴、杉浦 徳宏⁵、畑下 博世⁶、西出 りつ子²、成田 有吾²、門脇 文子²、片岡 三佳²、
石本 恭子⁷、山田 奈央⁸、池田 智明⁹、ピアヌート ブート¹⁰

¹産業医科大学産業保健学部看護学科、²三重大学大学院医学系研究科看護学専攻、
³三重大学大学院医学系研究科看護学専攻研究生、⁴三重大学大学院工学研究科情報工学専攻、
⁵三重大学総合情報処理センター、⁶東京医療保健大学看護学部、⁷川崎医療福祉大学医療技術学部、
⁸岐阜大学医学部看護学科、⁹三重大学大学院医学系研究科医学専攻、¹⁰チェンマイ大学看護学部

3-030-2 岐阜県ひきこもり地域支援センターにおける相談記録の分析

○西尾 彰泰¹、安田 照美²

¹岐阜大学保健管理センター、²岐阜県精神保健福祉センター

3-030-3 行政から虐待認定を受けたにも関わらず市長同意の医療保護入院が認められなかった一例

○後藤 大智、清水 芳郎
社会医療法人北斗会さわ病院

3-030-4 外来医療機関におけるケースマネジメントサービス提供量の多い患者の特性と支援のあり方について

○小池 純子¹、山口 創生¹、長谷川 直実²、佐々木 渉²、川副 泰成³、藤井 千代¹

¹国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域・司法精神医療研究部、
²医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック、³総合病院国保旭中央病院

3-030-5 地域在住高齢者の認知機能低下に関する身体的フレイルの関与

○橋本 学、本村 啓介、杠 岳文、八尾 博史
独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

9:40~10:40 一般演題(口演) 32
疫学

司会: 数井 裕光 高知大学医学部神経精神科学講座

3-032-1 自殺率低下における地域自殺対策緊急強化基金の重要性評価

○加藤 遼、岡田 元宏
三重大学大学院精神神経科学

3-032-2 精神科入院環境における暴力等の粗暴行為および違反行為に関する臨床疫学的研究

○綾仁 信貴¹、大矢 希¹、北岡 力¹、松本 佳大¹、森本 剛²、作間 未織²、武内 治郎²、成本 迅¹
¹京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学、²兵庫医科大学臨床疫学

3-032-3 全都道府県および千葉県における認知症の入院患者数の将来予想~2020、2025、2030年の認知症患者数の分析~

○高橋 由美子^{1,2}、花岡 晋平²、阿部 貴之²、澁谷 孝之²、深見 悟郎²
¹医療法人社団直樹会磯ヶ谷病院、²千葉県精神科医療センター

3-032-4 メンタル対策 20年間でのアウトプットの検証

○山田 博規
株式会社オフィスOHCR

3-032-5 生活習慣改善は精神的不調の予防となりうるか -生活習慣・睡眠とストレス反応に関する縦断調査○志村 哲祥^{1,2,3}、杉浦 航^{2,4,5}、井上 愛美^{2,6}、横井 克典^{2,7}、小嶋 麻美³、岬 昇平³、大野 浩太郎¹、古井 祐司⁸、井上 猛¹¹東京医科大学、²株式会社こどもみらい、³医療法人東京桜十字、⁴慶應義塾大学、⁵ヒューストン大学、⁶滋賀医科大学、⁷国際医療福祉大学、⁸自治医科大学**10:50~11:50 一般演題 (口演) 34
精神療法・心理社会療法 1**

司会：岩館 敏晴 一般財団法人みやぎ静心会 国見台病院

3-034-1 第四世代の認知行動療法としてのけやき療法：視聴覚刺激を加味した運動の補助的効果○稲田 良宜、稲田 信子
駅前神経内科メンタルヘルス研究所**3-034-2 Jaspers, K の精神病観：Element から Dmon へ**○佐藤 晋爾^{1,2}
¹筑波大学医学医療系茨城県地域臨床教育センター精神科、²茨城県立中央病院**3-034-3 妊婦のメンタルヘルスと安全な出産のための携帯メールによる介入の効果～ランダム化比較試験～**○児玉 豊彦¹、大林 陽子²、宮田 千春²、新小田 春美²、村端 真由美²、中谷 三佳³、谷村 晋²、太田 義勝⁴、杉浦 徳宏⁵、畑下 博世⁶、西出 りつ子²、成田 有吾²、門脇 文子²、片岡 三佳²、石本 恭子⁷、山田 奈央⁸、池田 智明⁹、ピアヌート ブート¹⁰¹産業医科大学産業保健学部看護学科、²三重大学大学院医学系研究科看護学専攻、³三重大学大学院医学系研究科看護学専攻研究生、⁴三重大学大学院工学研究科情報工学専攻、⁵三重大学総合情報処理センター、⁶東京医療保健大学看護学部、⁷川崎医療福祉大学医療技術学部、⁸岐阜大学医学部看護学科、⁹三重大学大学院医学系研究科医学専攻、¹⁰チェンマイ大学看護学部**3-034-4 遺伝要因について話し合うことで良好な転帰が得られた 2 症例**○高田 和尚^{1,2}、手塚 裕之¹、鈴木 恵子¹、東海林 岳樹¹、神田 秀人¹
¹山形県立こころの医療センター、²日本海総合病院**3-034-5 問題行動の修正を可能とした「無限連鎖法」について**○宮本 洋
医療法人聖和会つくば病院**12:00~13:00 一般演題 (口演) 36
精神療法・心理社会療法 2**

司会：神田 秀人 山形県立こころの医療センター

3-036-1 <演題取り下げ>**3-036-2 MRI 拡散テンソル画像解析による精神分析的な精神療法治療効果判定**○齊藤 幸子¹、高瀬 勝教²、高野 悟史³、木下 利彦¹
¹関西医科大学精神神経科学講座、²医療法人桐葉会木島病院、³医療法人以和貴会金岡中央病院**3-036-3 スピリチュアルペインの精神療法 -治療者の観点から、患者の視点から**○大沼 俊¹、清水 徹男²
¹いおりクリニック、²秋田県精神保健福祉センター



3-036-4 精神科医療における犬を用いた動物介在活動の効果について

○浅原 久子、宮城 整、岩崎 愛、稲毛 礼子
医療法人社団碧水会長谷川病院

3-036-5 Frankl, VE の精神療法は実存分析なのかロゴセラピーなのか

○佐藤 晋爾^{1,2}
¹筑波大学医学医療系茨城県地域臨床教育センター精神科、²茨城県立中央病院精神科

13:10~14:10 一般演題（口演）38
社会精神医学・多文化精神医学

司会：後藤 大介 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

3-038-1 「精神障害者」から「サイコスマティック・マイノリティ（PSM）」へ

○小椋 哲
医療法人瑞枝会クリニック心療内科・精神科

3-038-2 上海での診療経験から考える、在外邦人診療の現在と今後の展望

○中野 心介¹、徳永 雄一郎¹、市来 真彦²、松下 満彦¹
¹医療法人社団新光会不知火病院精神科、²東京医科大学病院

3-038-3 言語的コミュニケーションが困難であり対応に苦慮した日系人女性の一例

○北林 佳晃、長谷川 千絵、下田 和孝
獨協医科大学病院精神神経科

3-038-4 呉秀三と軍隊

○金川 英雄^{1,2}、新井 潤¹、田中 規幹¹、大西 弘二³、遠藤 祐子¹
¹国立病院機構埼玉病院、²昭和大学病院附属東病院、³大塚製薬（株）

3-038-5 国公立病院と陸海軍病院

○加藤 高裕¹、金川 英雄^{2,3}、石田 浩純⁴、坂井 俊之⁵、神田 良樹⁶
¹浜松町メンタルクリニック、²昭和大学精神科、³国立病院機構埼玉病院精神科、⁴中浦和メンタルクリニック、⁵坂井メンタルクリニック、⁶武蔵小金井南口心療内科クリニック

9月30日(水) J会場

8:30~10:30

シンポジウム 72

自閉スペクトラム症の感覚特性とは何なのか？

司会：今村 明
小坂 浩隆長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部
福井大学医学部病態制御医学講座精神医学領域/福井大学子どものこころの発達研究センター

S72-1

自閉スペクトラム症児の感覚刺激処理と養育者の精神的健康について

○辻井 正次¹、鈴木 香苗²¹中京大学現代社会学部、²浜松医科大学児童青年期精神医学講座

S72-2

自閉スペクトラム症の視機能の問題 -オプトメトリストによるビジョントレーニングの効果と実際-

○中村 尚広

尚時堂株式会社両眼視スキルアップ研究所

S72-3

自閉スペクトラム症者の嗅覚特性に着目する意義

○熊崎 博一

国立精神神経医療研究センター精神保健研究所児童予防精神医学研究部児童・青年期精神保健研究室

S72-4

自閉スペクトラム症の温冷覚、触覚特性の考察

今村 明¹、○山本 直毅^{1,2}¹長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部、²長崎大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経学

S72-5

ASD 者の感覚統合：作業療法士から見える世界

○岩永 竜一郎

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

S72-6

【指定発言】

○本田 秀夫

信州大学医学部子どものこころの発達医学教室

〈コーディネーター〉 今村 明

長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部

熊崎 博一

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部
児童・青年期精神保健研究室

小坂 浩隆

福井大学医学部病態制御医学講座精神医学領域/福井大学子どものこころの
発達研究センター

10:40~12:40

シンポジウム 83

オープンダイアログ実践における治療的要素

司会：斎藤 環
笹原 信一郎筑波大学医学医療系
筑波大学医学医療系

S83-1

統合失調症に対するオープンダイアログの治療的要因について

○斎藤 環

筑波大学医学医療系社会精神保健学

S83-2

リカバリーを促す、ネットワークの力 -個人療法から OD アプローチへスイッチした一事例からの考察

○大井 雄一¹、桂 明子²、斎藤 環³¹筑波大学産業精神医学・宇宙医学、²東京未来大学福祉保育専門学校、³筑波大学社会精神保健学



S83-3 家庭内暴力の事例に対するオープンダイアログの有効性

○森田 展彰
筑波大学医学医療系

S83-4 対話により生まれるスペースの意味と役割：家庭内暴力被害者ケースからの考察

○大谷 保和、斎藤 環
筑波大学医学医療系

S83-5 オープンダイアログ的アプローチが有効と考えられた事例 -治療チームの共通点と相違点に着目して-

○笹原 信一郎
筑波大学附属病院

S83-6 【指定発言】

○森川 すいめい
独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

〈コーディネーター〉 斎藤 環 筑波大学医学医療系
森田 展彰 筑波大学医学医療系

13:10~15:10 シンポジウム 95
精神科臨床における身体拘束と肺塞栓予防

司会：石田 琢人 東京都立墨東病院救命救急センター
西山 健治郎 二番町法律事務所

S95-1 精神科入院患者における静脈血栓塞栓症の有病率と血栓予防・血栓スクリーニングについて

○竹島 正浩
秋田大学医学部附属病院神経科精神科

S95-2 都立松沢病院における肺塞栓予防の歴史と残された課題

○今井 淳司
東京都立松沢病院精神科

S95-3 精神科における身体拘束及び肺血栓塞栓症（裁判例を中心に）

○島戸 圭輔
二番町法律事務所

S95-4 拘束患者に対する肺塞栓予防：単科精神科病院において実現可能な対策を考える

○石田 琢人
東京都立墨東病院救命救急センター

〈コーディネーター〉 石田 琢人 東京都立墨東病院救命救急センター

9月30日(水) K会場

8:30~10:30

シンポジウム 73

認知症の病態メカニズム〜グリア、炎症、タンパク伝播の観点から〜

司会：新井 哲明 筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学
橋岡 禎征 島根大学医学部精神医学講座

S73-1

活性化成人アストロサイトの神経毒性

○橋岡 禎征
島根大学医学部精神医学講座

S73-2

全身炎症によるミクログリア活性化とアルツハイマー病

○武 洲^{1,2}
¹九州大学大学院歯学研究院口腔機能分子科学、²九州大学大学院歯学研究院OBT研究センター

S73-3

α シヌクレイン病理伝播の動物モデル

○鈴掛 雅美、長谷川 成人
東京都医学総合研究所

S73-4

タウのプリオン様伝播モデルマウス

○細川 雅人、長谷川 成人
公益財団法人東京都医学総合研究所認知症プロジェクト

〈コーディネーター〉 新井 哲明 筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学
橋岡 禎征 島根大学医学部精神医学講座

10:40~12:40

シンポジウム 84

精神・一般救急医療連携〜地域における実践からその先を考える〜

司会：三宅 康史 帝京大学救急医学講座
藤田 潔 桶狭間病院藤田こころケアセンター

S84-1

全国消防本部対象の搬送困難事例調査から見える精神・一般救急医療連携の最適解とは

○橋本 聡¹、日野 耕介²、井上 幸代³、兼久 雅之⁴、五明 佐也香⁷、河嶌 譲⁵、北元 健⁶、
来住 由樹⁸、山下 建昭¹、杉山 直也⁹
¹独立行政法人国立病院機構熊本医療センター精神科、²横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター、
³沖縄県立南部医療センター・こども医療センター、⁴大分大学医学部附属病院精神科、
⁵国立病院機構災害医療センター、⁶医療法人社団碧水会長谷川病院、⁷獨協医科大学埼玉医療センター、
⁸岡山県精神保健福祉センター、⁹公益財団法人復康会沼津中央病院

S84-2

精神科身体合併症専門病棟（CIU）の役割と地域の精神科医療機関との連携について

○井上 幸代
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

S84-3

精神科医師不在の地方救命救急センターにおける地域連携のあり方について

○長嶺 育弘¹、中村 仁彦¹、佐藤 由佳子²、頭師 佳世子²、工藤 裕子³、岩本 直安³、清 弥佳⁴、
渡邊 祥一郎⁴、三好 良英⁵、松尾 寿栄⁵、金丸 勝弘⁶、吉田 建世⁷、石田 康⁵、落合 秀信⁶
¹宮崎県立延岡病院救命救急センター・救命救急科、²宮崎県立延岡病院看護部、³宮崎県延岡保健所、
⁴宮崎県福祉保健課地域福祉保健・自殺対策担当、⁵宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野、
⁶宮崎大学医学部病態解析医学講座救急・災害医学分野、⁷延岡市医師会

S84-4

大阪における精神科・一般救急医療連携 ハブ&スポークモデルの紹介

○中森 靖
関西医科大学総合医療センター



S84-5

〔指定発言〕

○杉山 直也

公益財団法人復康会沼津中央病院

〈コーディネーター〉 橋本 聡

杉山 直也

藤田 潔

独立行政法人国立病院機構熊本医療センター精神科

公益財団法人復康会沼津中央病院

桶狭間病院藤田こころケアセンター

13:10~15:10

シンポジウム 96

福島県における震災後の子どもたちのこころの支援

司会：中村 和彦 弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座

S96-1

県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」における東日本大震災後の子どもたちのこころの支援

○板垣 俊太郎

福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

S96-2

福島県の東日本大震災後の心理教育的支援

○辻井 正次^{1,2}

¹中京大学現代社会学部、²浜松医科大学子どもこころの発達研究センター

S96-3

「東日本大震災後に誕生した子どもたちとその母親に対する追跡研究」について

○榎屋 二郎¹、八木 淳子²、福地 成³、松浦 直己⁴

¹東京医科大学精神医学分野、²岩手医科大学神経精神科学講座、³みやぎ心のケアセンター、⁴三重大学教育学部

S96-4

いわき市で区域外就学している中学生における東日本大震災による避難の影響

○増山 晃大^{1,2}

¹医療創生大学心理相談センター、²いわき市教育委員会

S96-5

福島県浜通りにおける被災地支援活動を振り返って

○中山 浩

川崎市こども家庭センター

〈コーディネーター〉 中村 和彦 弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座

9月30日(水) L会場

8:30~10:30

シンポジウム 74

質の高い精神医療を担う多職種人材育成の最前線：課題解決型高度医療人材養成プログラム選定機関の試み

司会：笠井 清登 東京大学医学部附属病院精神神経科
村井 俊哉 京都大学医学部附属病院

S74-1

価値にもとづく支援者育成

○笠井 清登、熊倉 陽介、里村 嘉弘、太田 和佐、金原 明子、佐々木 理恵、森田 健太郎、
神出 誠一郎
東京大学医学部附属病院精神神経科

S74-2

精神科多職種連携治療・ケアを担う人材養成 (PsySEPTA) の取り組み

○渡部 衣美¹、根本 清貴²、太刀川 弘和²、山川 百合子³、繁田 雅弘⁴、新井 哲明²
¹筑波大学附属病院、²筑波大学、³茨城県立医療センター、⁴東京慈恵会医科大学

S74-3

メンタル・サポート医療人とプロの連携養成

○清水 栄司
千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学・子どものこころの発達研究センター

S74-4

「発達症への介入による国民的健康課題の解決」(京都大学)における多職種人材育成の試み

○義村 さや香
京都大学医学研究科人間健康科学系専攻

S74-5

課題解決型高度医療人材養成プログラム採択事業「慢性疼痛患者の生きる力を支える人材育成」の展開

○小川 成
名古屋市立大学大学院人間文化研究科

S74-6

【指定発言】

○橋本 直樹
北海道大学病院精神科神経科

S74-7

【指定発言】

○福田 正人
群馬大学医学部附属病院

〈コーディネーター〉 笠井 清登 東京大学医学部附属病院精神神経科

10:40~12:40

シンポジウム 85

不安症治療ガイドラインをいかに臨床に活かすか

司会：松永 寿人 兵庫医科大学精神科精神科神経科講座
塩入 俊樹 岐阜大学医学部附属病院

S85-1

パニック症治療ガイドラインをいかに臨床に活かすか

○塩入 俊樹
岐阜大学医学部附属病院

S85-2

社交不安症診療ガイドラインをいかに臨床に活かすか

○朝倉 聡
北海道大学保健センター・大学院医学研究院精神医学教室



S85-3 全般不安症の診療ガイドラインをいかに臨床にいかすか？

○大坪 天平
東京女子医科大学東医療センター精神科

S85-4 ト라우マから PTSD へ；ガイドラインを踏まえた多段階的治療対応

○金 吉晴
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S85-5 強迫症（OCD）治療ガイドラインをいかに臨床に活かすか

○松永 寿人
兵庫医科大学精神科精神科神経科講座

〈コーディネーター〉 松永 寿人 兵庫医科大学精神科精神科神経科講座

13:10～15:10 シンポジウム 97
周産期メンタルヘルスの最前線

司会：竹内 崇 東京医科歯科大学医学部附属病院
菊地 紗耶 東北大学病院

S97-1 周産期メンタルヘルスコンセンサスガイドの概要と新たな課題

○渡邊 博幸^{1,2}
¹医療法人学而会木村病院、²千葉大学社会精神保健教育研究センター

S97-2 EPDS の正しい理解

○武藤 仁志
東京医科歯科大学医学部附属病院精神科

S97-3 SSRI・SNRI の胎児への影響 -形態的、機能的催奇形性-

○伊藤 賢伸
順天堂大学精神医学講座

S97-4 向精神薬と授乳 -国内外の動向-

○渡邊 央美
国立成育医療研究センター妊娠と薬情報センター

S97-5 産後うつ病の特徴と治療

○小林 奈津子^{1,2}、菊地 紗耶¹、本多 奈美³、富田 博秋^{1,3}
¹東北大学病院、²東北大学大学院医学系研究科精神看護学分野、³東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

〈コーディネーター〉 鈴木 利人 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
岡野 禎治 三重大大学

9月30日(水) M会場

8:30~10:30

シンポジウム 75

統合失調症薬物療法の様々な課題にどう対応するか

司会：竹内 賢 公益財団法人星総合病院星ヶ丘病院
三浦 至 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

S75-1 統合失調症急性期の薬物療法

○三浦 至
福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

S75-2 統合失調症維持期における抗精神病薬の減量

○竹内 啓善
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S75-3 統合失調症の緊張病

○伊賀 淳一、越智 紳一郎、上野 修一
愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座

S75-4 統合失調症患者の身体リスク -代謝性副作用を中心に-

○須貝 拓朗
新潟大学医学部総合医学教育センター

〈コーディネーター〉 渡部 康 一般財団法人桜ヶ丘病院法人部・診療部
三浦 至 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

委員会シンポジウム 27
取り下げ

13:10~15:10

シンポジウム 98

過食と行動嗜癖：どこまで嗜癖として治療可能か

司会：宮岡 等 北里大学医学部精神科学
山下 達久 からすま五条・やましたクリニック

S98-1 行動嗜癖の「ハマる」と行動分析学

○蒲生 裕司^{1,2}
¹こころのホスピタル町田医局、²北里大学病院精神神経科

S98-2 過食の嗜癖的側面からの治療的アプローチ

○野間 俊一
嵯峨さくら病院

S98-3 摂食障害における食行動異常と物質使用との交代性サイクルは嗜癖なのか？

○松本 俊彦
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

S98-4 摂食障害患者における万引きは嗜癖か？

○瀧井 正人
北九州医療刑務所



S98-5

自傷行為と摂食障害

○永田 利彦

壹燈会なんば・ながたメンタルクリニック

〈コーディネーター〉 永田 利彦
宮岡 等

壹燈会なんば・ながたメンタルクリニック
北里大学医学部精神科学

9月30日(水) N会場

8:30~10:30

シンポジウム 76

クロザピン TDM の有用性と今後の課題

司会：菊池 結花 秋田大学医学部附属病院精神科
 稲田 健 東京女子医科大学病院

S76-1

クロザピン TDM の有用性

○赤嶺 由美子¹、菊池 結花²¹秋田大学医学部附属病院薬剤部、²秋田大学医学部神経運動器学講座精神科学分野

S76-2

クロザピンの母集団薬物動態解析と TDM の有用性

○猿渡 淳二¹、古郡 規雄²¹熊本大学大学院生命科学研究部薬物治療学分野、²獨協医科大学精神神経医学講座

S76-3

クロザピン治療薬物モニタリング (TDM) の本邦における新しい試み

○橋本 喜次郎¹、中原 辰雄¹、木田 直也⁴、村上 優¹⁰、白石 潤⁶、瀧本 良博⁸、村杉 謙次⁷、
前村 早紀⁵、町野 彰彦⁹、助川 鶴平³、大盛 航⁹、本田 和揮²、村田 昌彦⁵、上野 雄文¹¹独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター精神科、²独立行政法人国立病院機構菊池病院、³独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター、⁴独立行政法人国立病院機構琉球病院、⁵独立行政法人国立病院機構榊原病院、⁶独立行政法人国立病院機構北陸病院、⁷独立行政法人国立病院機構小諸高原病院、⁸やまと精神医療センター、⁹独立行政法人国立病院機構呉医療センター、¹⁰独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター

S76-4

クロザピン濃度測定 of 臨床および研究応用

○石川 修平

北海道大学病院精神科神経科

S76-5

【指定発言】

○古郡 規雄

獨協医科大学病院

S76-6

【指定発言】

○藤井 康男

地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立北病院

〈コーディネーター〉 菊池 結花 秋田大学医学部附属病院精神科

シンポジウム 86

取り下げ

13:10~15:10

シンポジウム 99

大学病院における精神科診療の役割

司会：三村 將 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室
 村井 俊哉 京都大学医学部精神科

S99-1

サイコオンコロジーの魅力

○三村 將、藤澤 大介

慶應義塾大学精神神経科学教室



S99-2 神経認知障害群の診断・治療に必要とされる他科連携

○上田 敬太
京都大学大学院医学研究科脳病態生理学（精神医学）

S99-3 大学病院における精神科診療の役割：高自殺リスク患者への介入と診療教育

○河西 千秋
札幌医科大学医学部神経精神医学講座

S99-4 大学病院における精神科診療の役割：コンサルテーション・リエゾン精神医学の立場から

○西村 勝治、赤穂 理絵
東京女子医科大学医学部精神医学講座

S99-5 筑波大学附属病院における周産期メンタルヘルスシステムの構築

○新井 哲明¹、根本 清貴¹、渡部 衣美²
¹筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学、²筑波大学附属病院

〈コーディネーター〉 三村 将 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室
村井 俊哉 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

9月30日(水) O会場

8:30~10:30

委員会シンポジウム 24 (精神医学研究推進委員会)

当事者・家族の望む精神医学研究とは：Patient and Public Involvement

司会：尾崎 紀夫 名古屋大学医学部附属病院
久住 一郎 北海道大学病院精神科神経科

主旨説明

○尾崎 紀夫
名古屋大学医学部附属病院

CS24-1

臨床研究者の立場から

○橋本 亮太
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

CS24-2

精神医学研究に対する齧歯類を用いた基礎研究の貢献

○大隅 典子
東北大学大学院医学系研究科

CS24-3

当事者・家族が望む研究とは何か？

○夏莉 郁子
やきつべの径診療所

CS24-4

当事者・家族が精神医学の研究に望むこと：アンケート調査の結果から

○中村 由嘉子、尾崎 紀夫
名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

CS24-5

【指定発言】

○中神 由香子
京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学教室）
京都大学環境安全保健機構健康管理部門/附属健康科学センター

CS24-6

【指定発言】

○久住 一郎
北海道大学病院精神科神経科

〈コーディネーター〉 尾崎 紀夫 名古屋大学医学部附属病院
橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

10:40~12:40

委員会シンポジウム 28 (災害支援委員会)

人為災害における精神保健医療上の課題：東京オリンピック・パラリンピックに向けて

司会：高橋 晶 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学/茨城県立こころの医療センター/筑波メディカルセンター
重村 淳 防衛医科大学校精神科学講座

CS28-1

放火事件と周辺地域住民への支援

○波床 将材
京都市こころの健康増進センター

CS28-2

学校での児童殺傷事件での子どもの心のケアとは～約20年を振り返って考察する～

○岩切 昌宏
大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター



CS28-3 **メディアの災害報道がメンタルヘルスに与える影響**

○重村 淳¹、高橋 晶^{2,3,4}、黒澤 美枝^{1,5}

¹防衛医科大学校精神科学講座、²筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、³茨城県立こころの医療センター、⁴筑波メディカルセンター、⁵武蔵野大学しあわせ研究所

CS28-4 **東京オリンピックを控えて、精神科に求められる事**

○高橋 晶^{1,2}

¹筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、²茨城県立こころの医療センター

〈コーディネーター〉 高橋 晶 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学/茨城県立こころの医療センター/筑波メディカルセンター
重村 淳 防衛医科大学校精神科学講座
福島 昇 新潟市こころの健康センター

13:10~15:10 **シンポジウム 100**
我が国の月経前不快気分障害 (PMDD) の現状

司会：大坪 天平 東京女子医科大学東医療センター精神科
武田 卓 近畿大学東洋医学研究所

S100-1 **PMS/PMDD 研究の動向と知見**

○松本 珠希

四天王寺大学教育学部教育学科保健教育コース

S100-2 **代替医療は有効か？～新規 PMS・PMDD 治療薬候補ピリドキサミンについて**

○武田 卓

近畿大学東洋医学研究所

S100-3 **産婦人科における PMDD 診療の実際**

○小川 真里子、高松 潔

東京歯科大学市川総合病院産婦人科

S100-4 **精神科からみた月経前不快気分障害 (PMDD)**

○大坪 天平

東京女子医科大学東医療センター精神科

〈コーディネーター〉 大坪 天平 東京女子医科大学東医療センター精神科
武田 卓 近畿大学東洋医学研究所

9月30日(水) P会場

8:30~10:30

シンポジウム 77

精神科入院治療再考 - 「重度かつ慢性」患者への包括支援実践ガイドをもとに

司会：安西 信雄 帝京平成大学大学院臨床心理学研究科
 田口 真源 医療法人静風会大垣病院

S77-1 統括調整班の立場から実践ガイドの根拠と病院としての取組の重要性

○安西 信雄
 帝京平成大学大学院臨床心理学研究科

S77-2 日本の好事例病院における統合失調症入院者への薬物療法の特徴

○宮田 量治¹、藤井 康男¹、三澤 史斉¹、武田 俊彦²、内田 裕之³
¹地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立北病院精神科、²公益財団法人慈圭会慈圭病院、³慶應義塾大学病院

S77-3 クロザピン治療に関する好事例病院へのヒアリング調査と CPMS 登録の医療機関へのアンケート調査について

○木田 直也¹、村上 優²、宮田 量治³、大鶴 卓¹、矢田 勇慈⁴
¹国立病院機構琉球病院精神科、²独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター、
³地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立北病院、⁴地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

S77-4 重度かつ慢性の精神障害者に対する包括的支援 -心理社会的治療の視点から

○岩田 和彦¹、井上 新平²、渡邊 治夫²、池淵 恵美³
¹地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター、²社会医療法人北斗会さわ病院、³帝京平成大学

S77-5 多職種チームによる地域ケアシステムの特徴

○吉川 隆博¹、野口 正行²、荻原 喜茂³、田村 綾子⁴、木戸 芳史⁵、三宅 美智⁶
¹東海大学、²メンタルセンター岡山、³NPO法人那須フロンティア、⁴聖学院大学、⁵浜松医科大学、⁶岩手医科大学

S77-6 【指定発言】

○櫻木 章司
 医療法人桜樹会桜木病院

S77-7 【指定発言】

○栃本 真一
 石川県立高松病院

〈コーディネーター〉 安西 信雄 帝京平成大学大学院臨床心理学研究科

10:40~12:40

委員会シンポジウム 29 (アンチスティグマ委員会)

精神疾患を抱える人が利用する施設建設に対するスティグマ

司会：秋山 剛 NTT東日本関東病院
 田中 増郎 公益財団法人慈圭会慈圭病院

CS29-1 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて

○吉野 智
 厚生労働省障害福祉課障害福祉専門官

CS29-2 磐梯ダルク会津若松事業所設立に向けた現状と課題

○平塚 英樹
 磐梯ダルク



CS29-3 精神障害を抱える人が地域で暮らすために：支援者の立場から

○浦田 裕美
福岡大学大学院人文科学研究科

CS29-4 「当事者の語り」が真の共生の鍵を握る～精神疾患の人に必要なのは“施設”なのか？」

○町 亞聖
フリーアナウンサー

CS29-5 地域住民との隔たり

○太田 実男
京都ダルク

CS29-6 【指定発言】

○堀井 宏和
北九州ダルク

CS29-7 【指定発言】

○出原 和宏
京都ダルク

CS29-8 【指定発言】

○水野 雅文
東邦大学医学部精神神経医学講座

〈コーディネーター〉 長 徹二 名古屋医専教務部
水野 雅文 東邦大学医学部精神神経医学講座
秋山 剛 NTT東日本関東病院

13:10～15:10 シンポジウム 101
血中濃度をもっと活かそう

司会：渡辺 雅子 新宿神経クリニック
菊池 結花 秋田大学医学部精神科学分野

S101-1 TDMをはじめるとあたっての基礎知識

○河崎 陽一、千堂 年昭
岡山大学病院薬剤部

S101-2 抗てんかん薬の血中濃度をどう理解するか？

○小出 泰道
小出内科神経科

S101-3 リチウムと血中濃度測定

○仁王 進太郎
東京都済生会中央病院精神科（心療科）

S101-4 クロザピン血中濃度測定（TDM）の実践～保険収載と全国普及を目指して～

○矢田 勇慈
地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

〈コーディネーター〉 山田 了士 岡山大学大学院精神神経病態学教室
渡辺 雅子 新宿神経クリニック
高木 学 岡山大学大学院精神神経病態学教室

9月30日(水) Q会場

8:30~10:30 **委員会シンポジウム 25 (法委員会)**
旧優生保護法と精神科医療を検証する

司会：三野 進 みのクリニック
佐藤 真弓 ひまわり佐藤まゆみクリニック

CS25-1 旧優生保護法への精神科医の関与を検証するために

○岡崎 伸郎
独立行政法人国立病院機構仙台医療センター

CS25-2 旧優生保護法国家賠償請求訴訟について

○山田 いずみ
旧優生保護法弁護団

CS25-3 今はようやく「検証」の入り口に立ったところである

○早苗 麻子
医療法人社団萌クリニック

CS25-4 旧優生保護法国家賠償請求訴訟原告

〈コーディネーター〉 三野 進 みのクリニック
佐藤 真弓 ひまわり佐藤まゆみクリニック
早苗 麻子 医療法人社団萌クリニック

10:40~12:40 **シンポジウム 87**
地域に根差した精神保健医療早期相談・介入システムの構築 -MEICIS プロジェクト

司会：田中 邦明 医療法人財団厚生協会東京足立病院
辻野 尚久 東邦大学医学部精神神経医学講座/済生会横浜市東部病院

S87-1 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムと早期相談・介入 -MEICIS

○根本 隆洋
東邦大学医学部精神神経医学講座

S87-2 大都市部における精神保健医療早期相談・支援システム -若年者ワンストップ相談センター SODAの試み-

○内野 敬
医療法人財団厚生協会東京足立病院

S87-3 過疎と人口減少の進む秋田県サイトからの報告

○清水 徹男
秋田県精神保健福祉センター

S87-4 多職種アウトリーチチームによる早期介入

○藤井 千代
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域・司法精神医療研究部

S87-5 増加する在留外国人とその精神障害 -神奈川県横浜市鶴見区在住日系ブラジル人にみる支援の実態とニーズ

○山口 英理子
済生会横浜市東部病院精神科



S87-6

【指定発言】

○竹島 正

川崎市精神保健福祉センター

〈コーディネーター〉 根本 隆洋 東邦大学医学部精神神経医学講座

13:10~15:10 **委員会シンポジウム 30 (災害支援委員会)**
東日本大震災復興期の精神保健活動の展開と発展

司会：加藤 寛 兵庫県こころのケアセンター
松本 和紀 東北大学病院

CS30-1

宮城県における東日本大震災復興期の地域精神保健活動の展開

○小原 聡子

宮城県精神保健福祉センター

CS30-2

福島における被災者への精神保健活動を振り返って：現状と今後の課題

○前田 正治^{1,2}、桃井 真帆^{1,2}、後藤 紗織^{1,2}

¹福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座、²福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター

CS30-3

東日本大震災後の子どもこころのケアの展開と被災地コホート調査結果から見える復興期の母子支援ニーズ

○八木 淳子

岩手医科大学医学部神経精神科学講座

〈コーディネーター〉 加藤 寛 兵庫県こころのケアセンター

9月30日(水) R会場

8:30~10:30 **シンポジウム 78**
不登校のまっとうな臨床をめぐる

司会：岡田 俊 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部
新谷 宏伸 本庄児玉病院/USPT研究会

S78-1 不登校の児童が目の前に現れたら～回復への先鞭をつけるために～

○稲垣 貴彦^{1,2}

¹医療法人明和会琵琶湖病院思春期青年期治療部、²滋賀医科大学精神医学講座

S78-2 不登校という文脈の変遷 -ブリーフセラピーによるプラグマティックな支援-

○若島 孔文

東北大学大学院教育学研究科

S78-3 不登校児童・生徒の社会(教室)復帰には、なにが必要か? 認知行動療法の立場から 2020

○西川 公平

CBTセンター

S78-4 スクールカウンセラーの不登校支援 -その機能と限界-

○上田 勝久

兵庫教育大学

S78-5 【指定発言】

○小澤 いぶき^{1,2}

¹東京大学医学系研究科保健社会行動学分野、²東京都石神井学園

〈コーディネーター〉 新谷 宏伸 本庄児玉病院/USPT研究会
黒木 俊秀 九州大学大学院人間環境学研究院

10:40~12:40 **シンポジウム 88**
「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築・実践のため精神医療従事者のないうることはなにか

司会：伊藤 順一郎 メンタルヘルス診療所しっぽふあーれ
渡邊 真里子 ちはやACTクリニック

S88-1 多職種アウトリーチをしている立場から「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」に対しての問題提起

○伊藤 順一郎

メンタルヘルス診療所しっぽふあーれ

S88-2 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築が目指すもの

○岩上 洋一

社会福祉法人じりつ

S88-3 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」を踏まえて精神科医が行政と協力してできること

○西尾 雅明

東北福祉大学せんだんホスピタル

S88-4 「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」実現に、障害福祉サービスをどう利用していくのか考える

○田島 光浩^{1,2}

¹ひかり診療所、²社会福祉法人南高愛隣会



S88-5

〔指定発言〕

○吉田 光爾

東洋大学大学院ライフデザイン学研究科

〈コーディネーター〉 伊藤 順一郎 メンタルヘルス診療所しっぽふあーれ

13:10~15:10

シンポジウム 102

抗 ADHD 薬の依存・乱用のリスクと ADHD の鑑別・併存を含めた適切な使用のあり方について

司会：岡田 俊

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部

飯田 順三

奈良県立医科大学医学部看護学科

S102-1

抗 ADHD 薬の misuse と abuse の現状について -日本と諸外国-

○岡田 俊

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部

S102-2

抗 ADHD 薬の依存リスクと流通規制について

○宇佐美 政英

国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科

S102-3

ADHD の過剰診断と過少診断

○藤田 純一

横浜市立大学附属病院児童精神科

S102-4

ADHD の鑑別・併存と抗 ADHD 薬の適正使用について

○根来 秀樹

奈良教育大学教職開発講座障害児医学分野/特別支援教育研究センター

〈コーディネーター〉 岡田 俊

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部

飯田 順三

奈良県立医科大学医学部看護学科

9月30日(水) ポスター会場

一般演題 (ポスター) 32

統合失調症 6

- 3-P32-1 統合失調症における生活習慣病予防への意識づけ -体重測定・生活習慣改善動機づけ啓蒙チャレンジ調査 (BMCT) -
○岩崎 真三
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
- 3-P32-2 統合失調症患者における抗精神病薬と瞬時心拍数変動との予備的検討
○岡安 寛明^{1,3}、藤井 久彌子²、尾関 祐二²、岡安 美紀生³、下田 和孝¹
¹獨協医科大学精神神経医学講座、²滋賀医科大学精神医学講座、³医療法人藍生会不動ヶ丘病院
- 3-P32-3 ロールシャッハ・テストの特殊指標による児童青年期の自殺の可能性についての検討
○岸本 直子¹、山室 和彦¹、岡崎 康輔¹、池原 実伸¹、石岡 希望¹、佐々木 寛¹、濱野 泰光¹、
太田 豊作¹、飯田 順三²、岸本 年史¹
¹奈良県立医科大学精神医学教室、²奈良県立医科大学看護学科人間発達学
- 3-P32-4 <演題取り下げ>
- 3-P32-5 統合失調症における自閉スペクトラム症傾向とリカバリーとの関係における self-stigma と抑うつ
の媒介効果
○小松 浩、大野 高志、米田 芳則、藤田 亨、鈴木 由美子、菅原 惣治、角藤 芳久
宮城県立精神医療センター精神科

一般演題 (ポスター) 33

統合失調症 7

- 3-P33-1 パリペリドン開始後に持続勃起症を呈した統合失調症の一例
○清水 真央、政岡 数紀、須田 顕、井出 恵子、石井 美緒、横田 花、勝瀬 大海
横浜市立大学附属病院精神科
- 3-P33-2 腸管型ベーチェット病を併発し複数の内服薬が奏効しなかった統合失調症患者に対し、LAI が奏効した一例
○関谷 樹、須田 雅史、福田 正人
群馬大学医学部附属病院
- 3-P33-3 異所性灰白質を伴い、自閉スペクトラム症に統合失調症が合併した一症例
○小野 信^{1,2}、松木 晴香¹、須田 寛子¹、小泉 暢大栄¹、細木 俊宏¹
¹新潟県立精神医療センター、²新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学寄附講座
- 3-P33-4 プレクスピプラゾールが著効した最遅発性統合失調症の一例
○稲山 靖弘、渡辺 浩年
渡辺病院医局
- 3-P33-5 入院中の屋内全面禁煙により病状が悪化した 2 症例
○清水 義雄、阿部 慶一、小林 建太郎
医療法人万成病院精神科



一般演題（ポスター）34

神経症性障害

- 3-P34-1 **DV 相談窓口・DV シェルター利用者の PTSD 重症度比較**
○大江 美佐里、小林 雄大、石田 哲也、千葉 比呂美、松岡 美智子、内村 直尚
久留米大学医学部精神神経科
- 3-P34-2 **成人強迫症患者における ADHD の併存とその傾向の臨床像への影響について**
○宮内 雅弘、向井 馨一郎、橋本 卓也、松永 寿人
兵庫医科大学病院兵庫医科大学精神科神経科学
- 3-P34-3 **<演題取り下げ>**
- 3-P34-4 **強迫症患者の強迫症状と嗅覚特性について**
○橋本 卓也¹、熊崎 博一²、松浦 直己³、向井 馨一郎¹、宮内 雅弘¹、山西 恭輔¹、松永 寿人¹
¹兵庫医科大学病院、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、
³国立大学法人三重大学教育学部特別支援教育講座特別支援（医学）分野
- 3-P34-5 **エスシタロプラムは高齢者の心因性頻尿に有効であった：4 症例の報告**
○伊藤 隆伸、佐野 威和雄
長崎県対馬病院精神神経科

一般演題（ポスター）35

てんかん

- 3-P35-1 **国際・国内レベルでの若手てんかん従事者ネットワーク：Young Epilepsy Section の取り組み**
○曾根 大地¹、飯島 圭哉²、池谷 直樹³、北澤 悠⁴、倉持 泉⁵、黒田 直生人⁶、曾我 天馬⁷、
高山 裕太郎²、堀之内 徹⁸、松原 鉄平⁹
¹University College London Institute of Neurology、
²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター脳神経外科、³横浜市立大学附属病院脳神経外科、
⁴横浜市立大学附属病院脳神経内科、⁵埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科、⁶Department of Pediatrics and Neurology, Wayne State University、⁷総合南東北病院脳神経内科、⁸北海道大学病院精神科神経科、⁹Department of Radiology, Massachusetts General Hospital
- 3-P35-2 **救急蘇生を必要とする呼吸停止をくり返したてんかん・心因性非てんかん発作合併例**
○四宮 雅博、鈴木 聡彦
医療法人社団順真会しのみヤクリニック
- 3-P35-3 **<演題取り下げ>**
- 3-P35-4 **長期服用していたフェニトインからラコサミドへの置換を試みたてんかんの 3 症例**
○横山 香、渡邊 さつき、村田 佳子、砂原 真理子、岡井 公志、高杉 綾香、松岡 孝裕、
松尾 幸治
埼玉医科大学病院神経精神科心療内科
- 3-P35-5 **カルバマゼピンにより劇的な認知機能及び精神症状の改善を認めた非けいれん性てんかん重積の一例**
○大嶋 悠太、鳩野 威明、菅原 裕子、竹林 実
熊本大学医学部附属病院神経精神科

一般演題（ポスター）36

睡眠障害

- 3-P36-1 **睡眠薬内服後の異常行動に関する実態調査**
○秋山 久¹、吉田 雄介²、三浦 元²、細川 嘉之²、本間 裕士²
¹市立札幌病院精神医療センター、²独立行政法人国立病院機構帯広病院
- 3-P36-2 **スマートフォンの使用、睡眠、心理的ストレス、注意機能の関連**
○篠山 大明^{1,4}、竹森 由佳²、小田切 みのり²、樋田 優希代²、杉山 暢宏²、山口 昌樹³、
鷺塚 伸介¹、本田 秀夫⁴
¹信州大学医学部精神医学教室、²信州大学医学部保健学科、³信州大学繊維学部機械・ロボット学科、
⁴信州大学医学部子どものこころの発達医学教室
- 3-P36-3 **一般児童における睡眠と情緒・行動上の問題に関する調査報告**
○細谷 倫子^{1,5}、神尾 陽子^{2,3}、北村 真吾²、高橋 秀俊⁴、竹島 正浩⁵、太田 英伸⁵、三島 和夫⁵
¹秋田大学医学部付属病院精神科、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、
³発達障害クリニック附属発達研究所、⁴高知大学医学部寄附講座児童青年期精神医学、
⁵秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座
- 3-P36-4 **難治性うつ病患者における、終夜睡眠ポリグラフ検査所見の検討**
○神田 優太、田中 彰人、高江洲 義和、渡邊 衡一郎
杏林大学精神神経学教室

一般演題（ポスター）37

摂食障害

- 3-P37-1 <演題取り下げ>
- 3-P37-2 **摂食障害の体重回復前後でのミスマッチ陰性電位についての中間報告**
○和田 知紘、板垣 俊太郎、松本 貴智、星野 大、刑部 有祐、菅野 和子、大西 真央、
高橋 雄一、野崎 途也、森 湧平、浅野 太志、横倉 俊也、佐藤 亜希子、伊瀬 陽子、
疋田 雅之、志賀 哲也、松岡 貴志、増子 博文、矢部 博興
福島県立医科大学神経精神医学講座
- 3-P37-3 **身体急性期の摂食障害患者の臨床的特徴の検討～身体重症度と医療連携の必要性について～**
○泉 竜太¹、國井 泰人^{1,2}、刑部 有祐¹、野崎 途也¹、森 湧平¹、板垣 俊太郎¹、三浦 至¹、矢部 博興¹
¹福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、²福島県立医科大学会津医療センター附属病院
- 3-P37-4 **大学病院外来の摂食障害治療における薬物療法実態調査**
○今村 弥生¹、菅 さくら¹、西園・マーハ 文²、渡邊 衡一郎¹
¹杏林大学医学部精神神経科学教室、²明治学院大学心理学部心理学科
- 3-P37-5 **両側気胸を合併した神経性無食欲症の一例**
○上村 永、下出 崇輝、村田 佳子、大島 史織、佐々木 剛、鈴木 美和、松尾 幸治
埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

一般演題（ポスター）38

その他

- 3-P38-1 **山口大学医学部附属病院における入院患者の自殺についての後方視的研究**
○水本 智大、松原 敏郎、樋口 文宏、中川 伸
山口大学附属病院精神科神経科



3-P38-2 岡山県美作市における社会的および職業的機能低下者の疫学調査：第1報

○本山 美久仁¹、山田 恒¹、目良 宣子²、松永 寿人¹
¹兵庫医科大学精神科神経科学講座、²山陽学園大学看護学部看護学科

3-P38-3 一般成人人口における抑うつ症状とメランコリー親和型性格の関連性の評価

○金子 宜之、今野 千聖、斎藤 かおり、横瀬 宏美、久保 英之、鈴木 正泰、内山 真
日本大学医学部精神医学系精神医学分野

3-P38-4 精神科外来患者における精神疾患と排便状態、便秘との関連性

○赤坂 邦、赤坂 史、赤坂 正、貞廣 荘太郎
あけぼのクリニック精神科

3-P38-5 プレガバリン依存を来した一例

○鈴木 二妙香、泉 竜太、板垣 俊太郎、三浦 至、矢部 博興
福島県立医科大学附属病院

一般演題（ポスター）39
地域精神医療

3-P39-1 <演題取り下げ>

3-P39-2 被養育体験が産婦の子へのボンディングに与える影響について

○茂木 崇治¹、福井 直樹¹、藤田 真貴¹、須貝 拓朗¹、江川 純¹、橋尻 洸陽¹、坪谷 隆介¹、
三留 節子²、荒木 理恵²、生野 寿史³、山口 雅幸⁴、西島 浩二⁵、高桑 好一⁵、榎本 隆之⁴、
染矢 俊幸¹
¹新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、²新潟大学医歯学総合病院看護部、³新潟県立がんセンター、
⁴新潟大学大学院医歯学総合研究科産科婦人科学分野、⁵新潟大学医歯学総合病院総合周産期母子医療センター

3-P39-3 過疎地域におけるひきこもり者に対するアウトリーチ活動 転帰に影響を及ぼす精神医学的要因について

○山科 満¹、長岡 重之²、大塚 耕太郎³
¹中央大学文学部人文社会科学部心理学専攻、²社団医療法人祐和会北リアス病院、
³岩手医科大学医学部神経精神科学講座

3-P39-4 地域における児童思春期病棟の役割について～院内学級に在籍する子どもを通して～

○富田 順子、佐藤 眞喜人、井村 進吾、岩寺 良太、佐藤 牧人
東北福祉大学せんだんホスピタル

3-P39-5 <演題取り下げ>

一般演題（ポスター）40
精神科救急

3-P40-1 昏迷状態が1か月以上遷延し、診断と治療に苦慮した一例

○山内 琢豊、出口 靖之
社会医療法人北斗会さわ病院

3-P40-2 福島県立医科大学における自殺企図患者の臨床的・社会的特徴の検討

○森 湧平、刑部 有祐、野崎 途也、浅野 太志、泉 竜太、後藤 大介、板垣 俊太郎、三浦 至、
矢部 博興
福島県立医科大学神経精神医学講座

3-P40-3 自殺報道と帝京大学附属病院救命救急センターでの自殺行動患者の受け入れと関連についての検討 (第二報)

○江村 康、金田 渉、松村 謙一、赤羽 晃寿、栃木 衛、林 直樹
帝京大学医学部附属病院メンタルヘルス科

3-P40-4 Moran の I 統計量を用いた市区町村・二次医療圏における自殺統計の地理的特性の検証

○香田 将英¹、高橋 聡²、篠崎 智大³、市川 学⁴、原田 奈穂子⁵、近藤 克則^{2,6}、石田 康¹
¹宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野、²国立研究開発法人国立長寿医療研究センター、
³東京理科大学工学部情報工学科、⁴芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科、
⁵宮崎大学医学部看護学科地域精神看護学講座精神看護学領域、⁶千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門

一般演題 (ポスター) 41

精神療法・心理社会療法

3-P41-1 気分障害が併存する慢性疼痛患者に対する集団行動活性化療法の試み

○横倉 俊也¹、青木 俊太郎^{1,2}、戸田 亘¹、松本 純弥¹、大谷 晃司^{2,3}、本谷 亮⁴、上田 由桂¹、
大西 真央¹、志賀 可奈子¹、川嶋 彩花¹、板垣 俊太郎¹、三浦 至¹、矢部 博興¹
¹福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、²福島県立医科大学医療人育成・支援センター、
³福島県立医科大学医学部整形外科科学講座、⁴北海道医療大学心理科学部

3-P41-2 <演題取り下げ>**3-P41-3 問題ギャンブラー向け LINE チャットボット介入の効果：オンラインランダム化比較試験 (GAM-BOT STUDY)**

○宋 龍平^{1,2}、古川 壽亮²、松下 幸生³、馬場 俊明⁴、松崎 尊信³、古野 悟志³、岡田 瞳⁴、樋口 進⁴
¹岡山県精神科医療センター、²京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻、
³独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター、⁴国立国際医療研究センター

3-P41-4 エビデンスからプロセスへ | 物質使用障害に対する心理的柔軟性に基づいた介入 | メタアナリシス

○伊井 俊貴
愛知医科大学病院

3-P41-5 患者のうつ病心理教育の実態および理解度と処方内容；抗うつ薬について

○富田 哲¹、古郡 規雄²、工藤 周平³、菅原 典夫²、藤井 学⁴、敦賀 光嗣⁵、佐藤 靖⁶、石岡 雅道⁷、
中村 和彦¹
¹弘前大学医学部附属病院神経科精神科、²獨協医科大学病院、³八戸市立市民病院、
⁴つがる西北五広域連合つがる総合病院、⁵青森県立つくしが丘病院、⁶大館市立総合病院、
⁷社会医療法人共栄会札幌トロイカ病院

一般演題 (ポスター) 42

動物モデル・基礎研究

3-P42-1 柴胡加竜骨牡蛎湯の投与に伴う、嗅球摘出ラットの行動および脳内モノアミン代謝産物の変化

○大串 祐馬¹、後藤 玲央¹、畑中 聡仁¹、川口 貴子¹、吉良 健太郎^{1,2}、川寄 弘詔¹
¹福岡大学医学部精神医学教室、²医療法人祥風会甘木病院

3-P42-2 アミロイド β 蛋白に対するデュアルオレキシン受容体拮抗剤の作用

○長谷川 進^{1,2}、後藤 玲央¹、尾籠 晃司^{1,3}、川寄 弘詔¹
¹福岡大学病院、²医療法人格心会晴明病院、³福岡国際医療福祉大学

3-P42-3 マカクザルにおける誤信念課題中の内側前頭前野の神経活動について

○林 剛丞^{1,2}、江川 純²、秋川 諒太³、川 圭祐⁴、長谷川 功¹、染矢 俊幸²
¹新潟県立精神医療センター精神科、²新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、³新潟大学工学部工学科、
⁴新潟大学医歯学総合研究科神経生理学分野



3-P42-4 Risperidone による Cocaine 誘発活動量増加の抑制効果について

○岡田 剛史、塩田 勝利、西島 康一、須田 史朗
自治医科大学附属病院精神科

3-P42-5 睡眠のモノアミン仮説から統合失調症の D-細胞仮説へ：リヨン睡眠学派の精神医学への貢献

○池本 桂子
いわき市医療センター精神科（リエゾン科）

一般演題（ポスター）43
産業精神医学

3-P43-1 <演題取り下げ>

3-P43-2 食事の不規則さは心身のストレス反応と睡眠の問題を介してプレゼンティズムを引き起こす

○林田 泰斗¹、志村 哲祥²、藤村 洋太¹、井上 猛²
¹東京医科大学八王子医療センター、²東京医科大学病院

3-P43-3 一般成人における主観的健康感に及ぼす、特性不安、小児期虐待、成人期ライフイベントの影響

○内田 由寛^{1,2}、東 晋二^{1,2}、片山 成仁^{2,3}、井上 猛²
¹東京医科大学茨城医療センターメンタルヘルス科、²東京医科大学精神医学分野、³医療法人社団成仁病院精神科

3-P43-4 オンライン産業医面接に関する意識調査

○種市 摂子¹、唐澤 崇²、高橋 雅彦²、福本 正勝³、山本 義春¹
¹東京大学大学院教育学研究科、²ドクタートラスト株式会社、³株式会社電通

3-P43-5 復興業務に従事する自治体職員のメンタルヘルス被害 -リスクを減らす因子の検討

○中塚 尚子
立教大学現代心理学部

一般演題（ポスター）44
社会精神医学・多文化精神医学 1

3-P44-1 日本・ブラジル精神科医療情報交換会の報告

○増田 将人^{1,2}、原田 信治³、マリ ジャイール⁴、サレット パウロ⁵、吉田 常孝⁶、関崎 亮⁷、
木下 利彦⁸、岸本 年史⁹、川崎 弘詔¹
¹福岡大学医学部附属病院精神医学教室、²医療法人社団新光会不知火病院、³在サンパウロ日本国総領事館、
⁴サンパウロ連邦大学精神科、⁵サンパウロ大学精神科、⁶外務省診療所、⁷学校法人桐丘学園、株式会社Welcome to talk、
⁸関西医科大学総合医療センター、⁹奈良県立医科大学精神医療センター

3-P44-2 在ブラジル日系移民病院の視察・情報交換会の報告

○増田 将人^{1,2}、原田 信治³、レオネール フェルナンデス⁴、天内 ヴァルテル⁵、吉田 常孝⁶、
関崎 亮⁷、木下 利彦⁸、岸本 年史⁹、川崎 弘詔¹
¹福岡大学医学部附属病院精神医学教室、²医療法人社団新光会不知火病院、³在サンパウロ日本国総領事館、
⁴サンタクルス病院、⁵日伯友好病院、⁶外務省診療所、⁷学校法人桐丘学園、株式会社Welcome to talk、
⁸関西医科大学総合医療センター、⁹奈良県立医科大学精神医療センター

3-P44-3 DV を理由とした離婚訴訟における精神的損害の認定について -裁判判例棄却判決の検討-

○森下 順子、須田 史朗
自治医科大学精神医学講座

3-P44-4 <演題取り下げ>

3-P44-5 <演題取り下げ>

一般演題（ポスター）45
気分障害 2

3-P45-1 <演題取り下げ>

3-P45-2 知覚されたストレスによるリスク回避傾向の変化とうつ症状との関連性の検討

○萩原 康輔、陳 冲、雷 慧潔、古庵 伊吹、中川 拓海、弘津 正子、山形 弘隆、松原 敏郎、
中川 伸
山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

3-P45-3 うつ病の当事者やその家族における治療意思決定の現状と希望を含めた質問紙調査の結果報告

○坪井 貴嗣、渡邊 衡一郎
杏林大学医学部付属病院精神神経科学教室

3-P45-4 ウェアラブルモニターを用いたうつ状態の心拍変動と活動量 -活動/睡眠時間帯別の検討-

○古賀 賀恵¹、小松 陽子²、木村 博士³、篠崎 亮³、秀瀬 真輔¹、清水 祐輔²、石丸 園子²、功刀 浩¹
¹国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病第三部、
²東洋紡株式会社総合研究所快適性工学センター、³ユニオンツール株式会社開発部

一般演題（ポスター）46
疫学 2・その他

3-P46-1 模擬患者を活用した公認心理師のコミュニケーション教育の実践報告

○小野 久江、竹谷 怜子、高橋 友子
関西学院大学文学部総合心理科学科

3-P46-2 重度の心理的苦痛を抱える人々のがん検診受診率の経時的変化 -国民生活基礎調査データの解析

○藤原 雅樹¹、樋口 裕二²、中谷 直樹³、藤森 麻衣子⁴、山田 裕士⁵、和田 里穂⁵、江藤 剛⁶、
掛田 恭子⁷、内富 庸介⁸、中山 富雄⁹、山田 了士⁵、稲垣 正俊¹⁰
¹岡山大学病院精神科神経科、²こころの医療たいようの丘ホスピタル、³埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科、
⁴国立がん研究センター社会と健康研究センター健康支援研究部心理学研究室/コホート連携研究部連携推進研究室、
⁵岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学、⁶島根大学医学部附属病院看護部、
⁷高知大学医学部神経精神科学教室、⁸国立がん研究センター中央病院支持療法開発センター、
⁹国立がん研究センター社会と健康研究センター検診研究部、¹⁰島根大学医学部精神医学講座

3-P46-3 重度の心理的苦痛を抱える人々の喫煙率の経時的変化 -国民生活基礎調査データの解析

○藤原 雅樹¹、樋口 裕二²、中谷 直樹³、藤森 麻衣子⁴、山田 裕士⁵、和田 里穂⁵、江藤 剛⁶、
掛田 恭子⁷、内富 庸介⁸、山田 了士⁵、稲垣 正俊⁹
¹岡山大学病院精神科神経科、²こころの医療たいようの丘ホスピタル、³埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科、
⁴国立がん研究センター社会と健康研究センター健康支援研究部心理学研究室/コホート連携研究部連携推進研究室、
⁵岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学、⁶島根大学医学部附属病院看護部、
⁷高知大学医学部神経精神科学教室、⁸国立がん研究センター中央病院支持療法開発センター、
⁹島根大学医学部精神医学講座

3-P46-4 <演題取り下げ>

3-P46-5 入学時健康診断を用いた大学生の入学後の修学と関係する因子の検討

○大島 紀人¹、渡辺 慶一郎¹、佐々木 司²、柳元 伸太郎³
¹東京大学相談支援研究開発センターメンタルヘルス部門、²東京大学教育学研究科、³東京大学保健健康推進本部



一般演題（ポスター）47

社会精神医学・多文化精神医学2

- 3-P47-1 **WHODAS2.0による関西医科大学総合医療センター精神科病棟の後方視的観察 -DSM5における『V軸』の着地点-**
○青木 宣篤、西田 圭一郎、越川 陽介、木下 利彦
関西医科大学総合医療センター精神神経科
- 3-P47-2 **言語の障壁による社会的孤立のため精神症状が増悪した在留外国人の一例**
○ベトリッジ クリストファー心、羽岡 健史、梶本 隆夫、成島 直紀、商 真哲、寺尾 敦、菊池 章
浦和神経サナトリウム医局
- 3-P47-3 **特定機能病院精神科における多職種連携 -看護管理者を対象とする横断研究より-**
○野崎 章子¹、森内 加奈恵²、小原 泉³
¹千葉大学大学院看護学研究科、²千葉大学医学部附属病院、³自治医科大学看護学部
- 3-P47-4 **大災害後のコミュニティ支援に何が必要なのか～みやぎ心のケアセンターの活動分析からみえること～**
○福地 成¹、片柳 光昭²、松本 和紀³、小高 晃⁴、白澤 英勝⁵
¹みやぎ心のケアセンター、²東北大学大学院医学系研究科災害精神医学分野、
³東北大学大学院医学系研究科精神神経学学分野、⁴医療法人松田会エバークリーン病院、⁵医療法人東北会東北会病院
- 3-P47-5 **福島第一原子力発電所事故により強制避難となった精神科入院患者の死亡率について**
○後藤 大介¹、國井 泰人²、星野 大¹、各務 竹康³、福島 哲仁³、矢部 博興¹
¹公立大学法人福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、
²公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座、
³公立大学法人福島県立医科大学医学部衛生学・予防医学講座